

ノーステック財団における 道内企業向けデジタル化支援等の取組みについて

2023年3月14日

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
(ノーステック財団)

NOASTEC



1. ノーステック財団のDX支援関連事業の概要

ロボティクス・AI・IoT・Saas等のデジタル技術を活用した業務変革や新たなビジネスモデル構築を支援する取組みを通じ、担い手不足に悩む道内産業の労働生産性向上を図る。

道内基幹産業の強靱化（企業支援）

学生向けの対応

～2021

食関連・製造業へのスマート化・DX化支援

- ロボット導入等に向けた普及啓発活動（セミナー・展示会等）
- IoT等のデジタル技術導入に向けた課題抽出・計画策定ワークショップ
- ロボット・IoT導入に向けた社内人材、支援人材育成講座の実施
⇒相談拠点「スマートものづくり応援隊」を構築し、専門家派遣によるハンズオン支援



早期人材育成

- ビジネスEXPOの場を活用し、大学生等を対象とした企業説明会、ロボット操作体験講座等を実施



2022

道内の中核企業への個別支援

地域DX促進活動支援事業 （経済産業省補助）



- 産学官金24機関によるオール北海道体制でのDX推進コミュニティの構築と運営
- 地域の中核的企業13社に、伴走型支援を実施

普及・啓発

ものづくり産業高度化促進事業 （自主事業）



【DX推進プラットフォームの構築】

- 「道内企業のDXポータル」サイトを構築
- DX事例やIT企業紹介、セミナー等の情報発信



食・製造業支援

地域企業の先端技術人材確保・育成等事業 （北海道補助）

- デジタル技術やロボット等の導入促進に向け、ものづくり企業の社内人材に対するノウハウ・スキル習得のセミナー、研修会を開催。また、水平展開可能なモデル企業へのハンズオン支援も実施。

ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業 （北海道委託）

- ものづくり企業のグリーン・デジタル推進に関連するセミナー・相談会の開催、専門家派遣・指導などを実施。



2. 地域DX促進活動支援事業の概要 (2022年度)

北海道DX推進協働体

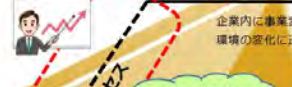
- 地域の関係者が一体となって、地域企業のDX 推進に向けて連携・協働するコミュニティ
- 経営・デジタルに関する専門的知見・ノウハウを持つ、産学官金の関係機関・団体等24機関で構成



地域企業のDX 推進に向けた課題分析・戦略策定の伴走型支援

- ✓ 専門家支援チームを編成し、複数回の支援を実施
- ✓ 企業の状況に合わせ、デジタル技術導入を主体とした『業務変革プロセス支援』、デジタル技術を活用した『ビジネスモデル変革支援』を実施

【支援対象領域】
デジタル企業
企業内は事業変革の体制が整い、環境の変化に迅速に対応できる。



地域企業とソリューション提供事業者(ITベンダー等)とのマッチング支援



支援企業：①13社、②3社

- ✓ 課題の詳細を聴取し、ソリューション提供事業者との調整を行い、適切な事業者を紹介
- ✓ 企業の要望に合わせて仲介のみではなく、トライアル利用まで踏み込んだ支援を行う

北海道の地域企業DX推進に向けたコンセンサス形成活動

【実施概要】

1. 協働体連携会議の開催 (2回：7月、3月予定)
2. セミナー開催
サイバーセキュリティ (10月21日)
DX実践事例報告 (3月23日予定)



※その他、ノーステック財団独自にポータルWEBサイトの運営を行う

蓄積する
ノウハウ・
ネットワーク
の維持発展

【自走化】

業として活動を継続
ノーステック財団における地域産業の支援事

① 伴走型支援

② マッチング支援

③ DX化コンセンサスの形成

ビジネス戦略

IT施策検討

相談依頼

道内企業

※道内に本社・拠点を有する企業

- 業種、規模制限はないが、地域未来牽引企業など地域経済の中心となる担い手企業を対象
- 「DX推進指標」自己診断を実施し、その結果を(独法)情報処理推進機構に提出後、支援開始
- ①伴走型支援、②マッチング支援を受けた企業は、実施3年後まで決算資料に基づく労働生産性を報告



DX戦略の遂行
協働体での継続
フォロー

【目標】
R7年度に
労働生産性
6%向上

(参考) 北海道DX推進協働体について (参画機関24機関)

密な情報交換による的確な支援を選択・実施

地域金融機関

- 北海道銀行
- 北洋銀行
- (株)北海道共創パートナーズ
- (一社)北海道信用金庫協会

- ・ 地域企業情報の提供
- ・ 金融視点からのアドバイスほかの協力

地域支援機関

- (一財)旭川産業創造プラザ
- (一社)北見工業技術センター
運営協議会
- (公財)釧路根室圏産業技術
振興センター
- (一財)さっぽろ産業振興財団
- (公財)とかち財団
- (公財)道央産業振興財団
- (公財)室蘭テクノセンター

- ・ 地域企業情報の提供
- ・ 地域企業への技術的フォローほかの協力

北海道経済産業局

補助

事務局

(公財)北海道科学技術
総合振興センター
(ノーステック財団)

運営WG (ノース/IT協/経産局)

- ・ 地域企業情報の提供
- ・ 地域企業へのフォローほかの協力

地域経済団体

- (一社)北海道商工会議所連合会
(道内42の商工会議所)
- 北海道商工会連合会
(道内152の商工会)

DX関係機関

- (一社)北海道IT推進協会
- (地独)北海道立総合研究機構
- 北海道ITコーディネータ協議会
- 北海道電力(株)
- (株)NTT東日本-北海道

- ・ 専門的アドバイスやITベンダー紹介ほかの協力

- ・ 専門家派遣など連携した施策展開による効果的伴走支援の実現

中小施策機関

- (独)中小企業基盤整備機構
北海道本部
- (公財)北海道中小企業総合
支援センター

- ・ 業界状況や会員企業の関連情報提供
- ・ 専門的アドバイスほかの協力

地域業界団体

- (一社)北海道機械工業会
- (一社)北海道食品産業協議会

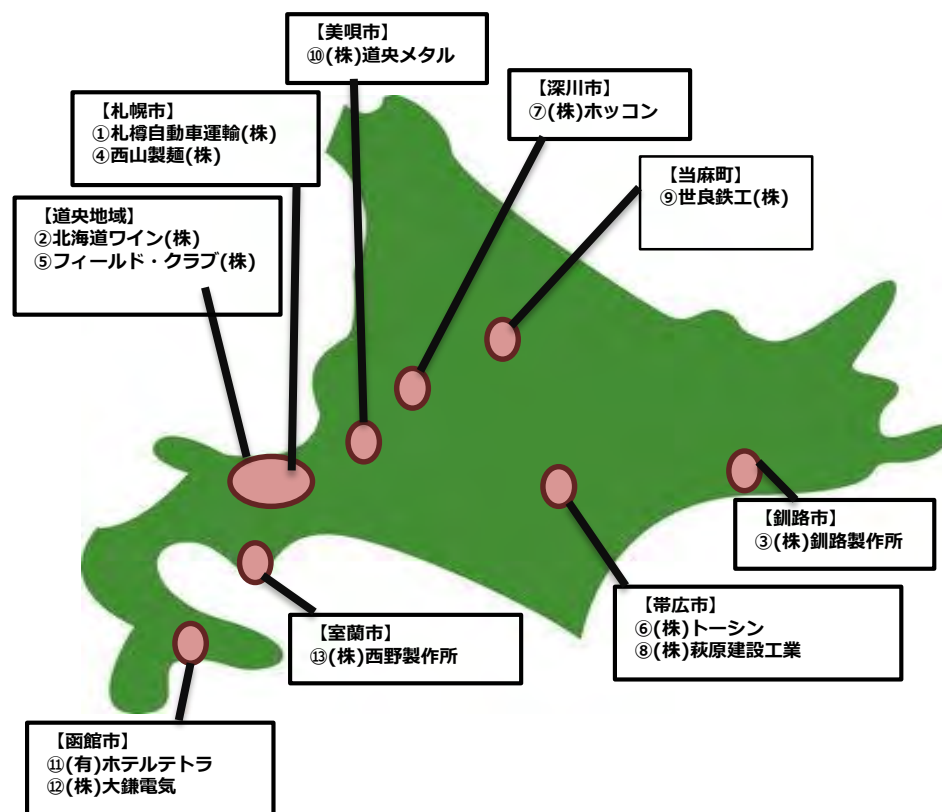
3. 伴走型支援の実施状況（概略）

- ・ 2022年6月～9月まで支援希望企業を募集し、下記の13社を支援企業に選定。
- ・ 「北海道DX推進協働体」の構成員である（一社）北海道IT推進協会、北海道ITコーディネータ協議会等から専門家を輩出。各社2名以上で専門家支援チームを編成し、複数回の面談を実施。
- ・ 各企業の経営層やデジタル化推進を担う人材との対話を通じて、企業のDX推進に向けた課題分析(※)・戦略策定の伴走型支援やITベンダー等とのマッチング支援を実施。
- ・ 2023年度以降も、自主財源等を活用し取組みを継続。

※ 主な共通課題：社内一丸となった推進体制の構築、業務の最適化、デジタルツールの有効活用、デジタル人材の確保等

> 支援企業一覧

番号	企業名	業種
1	札幌自動車運輸（株）	運送業
2	北海道ワイン（株）	食料品製造業
3	（株）釧路製作所	金属製造・加工業
4	西山製麺（株）	食料品製造業
5	フィールド・クラブ（株）	デザイン設計・施工
6	（株）トーション	玩具小売業
7	（株）ホッコン	生コン製造業
8	萩原建設工業（株）	建設業
9	世良鉄工（株）	金属製造・加工業
10	（株）道央メタル	金属製造・加工業
11	（有）ホテルテトラ	宿泊業
12	（株）大鎌電気	建設業
13	（株）西野製作所	金属製造・加工業



4. 人材育成の取組み (①地域企業の先端技術人材確保・育成等事業)

- ・ 道内ものづくり企業の人手不足改善のため、デジタル化やロボット導入による生産性向上が必要。
- ・ その一方で、先端技術に関して高度なスキルを持つ専門人材が不足。
- ・ 製造現場の技術者を対象に、道内各地でワークショップ形式や体験型の専門人材育成研修を開催。

道内ものづくり企業のための デジタル人材育成講座

～現場の課題の見える化による現場のニーズに沿った「デジタル」解決策の実現～

【このような方におすすめです】

- 現場のデジタル化に興味はあるが、何ができるか、活用方法がわからない方
- スモールスタートでもデジタル化に挑戦してみたい方

参加料 無料

◆ 講座概要

1	開催日時	令和4年10月27日(木) 13:30 ~ 17:30
2	会場	公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター【ノーステック財団】(札幌市北区21条西12丁目 コラボほっかいどう 1階大会議室)
3	対象者	現場へのデジタル化の導入・活用を検討しているものづくり企業の方
4	講座	ワークショップ【UXデザインを用いたDXの実現】 ・自らの現場の課題を『見える化(分析・整理)』することで、最適な解決方法(システム)を導き出します。 ※UXデザイン：製品、システム、サービス等を利用する際のユーザーの体験(ユーザーが感じる印象・感情)が良い方向になるよう設計すること

【札幌エリア】

【参加者】10/27札幌市 9名

道内ものづくり企業のための デジタルツール活用人材育成講座

～データ活用ワークショップ～

【このような方におすすめです】

- 現場のデジタル化に興味はあるが、何ができるか、活用方法がわからない方
- スモールスタートでもデジタル化に挑戦してみたい方

参加料 無料

◆ 講座概要

1	開催日時	令和5年1月26日(木) 13:30 ~ 16:30
2	会場	ホテルウィングインターナショナル旭川駅前(旭川市宮下通7-3112)
3	対象者	IoTの導入・活用を検討しているものづくり企業の方
4	講座	データ活用ワークショップ ・誰もが手軽に参加できる第一歩として、デジタルデータを使って毎日の仕事を便利・簡単にするアイデアを考えて・共有・整理するワークショップを実施。

【旭川エリア】

【参加者】1/25札幌市 11名、1/26旭川市 10名

道内ものづくり企業のための ロボット人材育成講座

【このような方におすすめです】

- 産業用ロボットの導入を検討しているが、制御方法や活用方法のイメージが湧かない方
- 自社の生産現場に適した産業用ロボットの情報が知りたい方

参加料 無料

◆ 講座概要

1	開催日時	令和4年10月25日(火) 13:30 ~ 16:30
2	会場	タイデンロボットセンター(室蘭市築地町138-9)
3	対象者	産業用ロボットの導入・活用を検討しているものづくり企業の方
4	講座	①北海道立総合研究機構・工業試験場によるロボット導入に必要な実践的な基礎知識を学ぶ。 ②太平電気(株)が運営するタイデンロボットセンターに設置してある実際のロボットを使用した研修により、具体的なロボットの活用方法を学ぶ。

【苫小牧エリア】

【参加者】10/25室蘭市 14名、2/10苫小牧市 9名



4. 人材育成の取組み (②道内企業と道内学生との交流機会の提供)

北海道最大級のビジネスイベント | 会場のご案内

テーマ イノベーション創造北海道～SDGs × デジタル新時代～ **291**ブース出展 (道庁・県庁企業は無料)

36th 北海道 ビジネスEXPO

SDGs・未来創造ゾーン
北海道の未来に向けた「新たな価値・サービス」を発信します

先端技術ゾーン
■ 実機・体験DX (デジタルトランスフォーメーション)
■ FOOD FACTORY (食品・ロボット機械の創造体験) ほか

その他 5つの展示ゾーン
■ ITビジネス
■ 地方創生・観光・福祉ビジネス
■ 地域創生ビジネス
■ 環境・バイオビジネス
■ 学術・試験研究機関

名譽会長 鈴木直道 (北海道知事) | 実行委員長 真弓明彦 (ノーステック財団理事長)

3年に及ぶコロナ禍、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、インフレ等、不確実な時代が続く中、挑戦を恐れず、「北海道からイノベーション創造」を起こします。

「SDGs×デジタル新時代」持続性社会は、デジタル新時代の幕開けから始まります

北海道は、創造性と革新性のイノベーションで、「課題解決 先進地域」を目指します。

2022 **11/10** 10:00-17:30 **11/11** 9:30-17:00

入場無料 | アクセスサポート | 無料シャトルバス運行

お問い合わせ 北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会 事務局 (ノーステック財団)
〒001-0021 札幌市北区北24条西12丁目 コーポレートビル 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター内
TEL:011-716-9100 FAX:011-708-6329 <https://www.bizfair-expo.jp>

「ビジネスEXPO」(実行委員会事務局：ノーステック財団)において、道内の大学生等向けの企業説明会等を開催。
若年層に対する道内企業の魅力や認知度の向上、仕事への意欲・関心を高める取組みを実施。

【開催実績】
2022年度：北海道科学大学3年生134名、札幌市立大学3年生4名
2021年度：北海道科学大学3年生88名、札幌市立大学3年生5名
北海道バィオテクノロジー専門学校1年生4名
2020年度：札幌工業高校2年生80名、札幌琴似工業高校1年生80名

ビジネスEXPOは学生の皆様の就職活動を応援します!

- 学生の皆様に「是非、ブース見学して欲しい」という企業さまのための各種回を公式ホームページにて公開
- 道内大学・高等・工業学校から学生が多数来場
- 道内大学限定 企業の生の声が聞ける「学生向け企業説明会」を開催

【2022年度開催状況】

